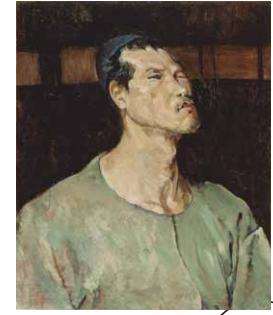


次は日本洋画ね



いしむらにしうろ
本名は石村日郎／
2 輻光《帽子をかむる自画像》
(1907-1946)

1943(昭和18)年、油彩・カンヴァス
さきたひろしま
作者は広島県(現・北広島町)生まれ。新しい表現を追求しながら活躍を続けましたが、兵隊として渡った中国で病気にかかり亡くなりました。

不安や息苦しさ、色々な思いがある中、せめて絵の中では自分を力強く描こうとしたのかもしれないね

輻光さんの周りも兵隊にとられ、この頃、中国やアメリカと戦争をしていた日本では、毎日戦争の知らせが届いていたわ

若い男の人はほとんど残っていなかつたそよ



こばやしせん こ
3 小林千古《ミルク・メイド》

1897(明治30)年、油彩・カンヴァス
はつかいち
作者は広島県(現・廿日市市)生まれ。
アメリカへ出稼ぎで渡り、そこで美術を学びました。



強い日差しの中、両手に荷物を持って、大変そう…!

作者はじめ、出稼ぎ労働者としてアメリカに渡ったのを決意し、働きながら苦労して絵を学んだのよ

働くことは、作者にとって大事なテーマだったんだね
この女の人の姿にも、画家をめざして地道に歩む作者の人生が重ねられているのかも…



アカが座ると
何かエラそ…

何？

ウフ
ケンカしないのよ

不安や息苦しさ、色々な思いがある中、せめて絵の中では自分を力強く描こうとしたのかもしれないね

輻光さんの周りも兵隊にとられ、この頃、中国やアメリカと戦争をしていた日本では、毎日戦争の知らせが届いていたわ

若い男の人はほとんど残っていなかつたそよ



あー
早起きしたからお腹が空いておきちゃんがやつた…
あれ？

あら、早くつたのね
色絵馬のおふたりに…そちらがお客様なんね？

何だかいにおいがするよ

あれ？



『坐せる女』

よ はじめまして

ちょうど紅茶をいたところよ
フライケーイ(※)と一緒に召し上がり♪

注 飲食は館内での禁止です。

やつた～



※南薰造の故郷、広島県呉市の名物

みなみくんぞう さ おんな
1 南薰造《坐せる女》

(1883-1950)
1908(明治41)年、油彩・カンヴァス

くれ
作者は広島県(現・呉市)生まれ。東京美術学校を卒業後、ヨーロッパに滞在し、絵の勉強を続けました。光の表現を追求した、温かみのある豊かな色彩表現で知られています。

描かれているもの、それぞれの質感がよく伝わってくるね！

